

# 平成 27 年第 7 回鹿角市議会定例会 一般質問

## □質問順位及び質問所要時間

1 2月7日(月) 午前10時～

1	安 保 誠一郎	議員	(60分)
2	田 中 孝 一	議員	(60分)
3	田 口 裕	議員	(60分)
4	倉 岡 誠	議員	(60分)

1 2月8日(火) 午前10時～

5	児 玉 政 明	議員	(60分)
6	和井内 貞 光	議員	(60分)
7	館 花 一 仁	議員	(60分)
8	高 杉 正 美	議員	(60分)

## □質問時間割当表

10:00		11:00		11:10		12:10		13:00		14:00		14:10		15:10	
1 2月7日(月)	安保誠一郎 (60分)	休憩 10分間	田中孝一 (60分)	休 憩	田口 裕 (60分)	休憩 10分間	倉岡 誠 (60分)								

10:00		11:00		11:10		12:10									
1 2月8日(火)	児玉政明 (60分)	休憩 10分間	和井内貞光 (60分)	休 憩	館花一仁 (60分)	休憩 10分間	高杉正美 (60分)								

# 平成 27 年第 7 回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	1	質問者	安保 誠一郎	質問所要時間	60 分
質問事項			質問要旨		
1	教育問題について (1) 道徳教育について	<p>① 道徳教育において、学校間での指導方法や、授業の内容などについて違いはあるか伺う。</p> <p>② 鹿角市では、マインランド（尾去沢鉱山）やストーンサークル、そして、八幡平の観光ガイドの一部を地域の中学生在が行っているが、道徳教育の中で、「社会参画の役割」や「市民性」についてどのように指導しているか伺う。</p>			
2	環境問題について (1) 臭気対策について	<p>① 男平養豚団地において、消臭機能が完備された堆肥センターが建設されたことで、臭気の発生頻度は若干低くなったが地域住民にとって満足できるものではない。市の対策について伺う。</p>			
3	文化財保護支援について (1) 花輪ばやしについて	<p>① ユネスコ登録に向け機運の醸成を図るため、鹿角市としても何らかの取り組みが必要と思われるが所見を伺う。</p> <p>② 駅前広場の有効活用として、地域の伝統文化財の継承という観点から、各地域の民俗芸能を花輪ばやしの前座として披露する取り組みは考えられないか伺う。</p> <p>③ 文化財の保護育成と情報交換、及び文化財による地域活性化を目的とした、国の指定を受けた文化財を有する他市との「文化財サミット」に取り組む考えはないか伺う。</p> <p>④ 文化財保護の観点から、屋台製作修理技術者の育成に助成できないか伺う。</p>			
4	管理体制について (1) 情報管理について（マイナンバー）	<p>① 情報管理には、様々な不測の事態が懸念されるが、市の体制は万全なのか伺う。</p>			

## 平成 27 年第 7 回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	1	質問者	安保 誠一郎	質問所要時間	60 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
(2) 職員の規範意識について  5 地場産業支援について (1) 林業支援について  (2) 建築業支援について  6 選挙権引き下げについて (1) 18 歳選挙権に向けた取り組みについて			① 不納欠損に始まり、最近の公金の紛失など、職員の公務に対する自覚の欠如が散見される。今後の職員の意識改革に対する市長の所見を伺う。  ① 林業界では、消費税増税前の駆け込み需要の反動から、昨年 4 月以降低迷を続けている。森林資源が担う多面的機能の維持向上のための市の支援について伺う。  ② 高性能機械の運転技術者など、若い林業技術者の育成支援について伺う。  ① 大手のハウスメーカーより、地元の建築業者を利用するような仕組みは考えられないのか伺う。  ① 公職選挙法の改正による 18 歳への引き下げについて、市長の見解を伺う。  ② 若い世代は政治に対する関心は低いが、ボランティアなど社会貢献への参加は増えている。若者の、この意識や行動のギャップについて、どのように考えているのか、その認識について伺う。  ③ 周知について、教育委員会との連携は取れているのか、また、高校に通っていない者や市外の高校に通っている者への、市政の状況などを知ってもらうための取り組みはどのように考えているのか伺う。  ④ 若い世代の投票率向上のため、若者が政治参加できるような事業の創設など、様々な観点から取り組みが必要と考えるが所見を伺う。		

# 平成 27 年第 7 回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	2	質問者	田中 孝一	質問所要時間	60 分
質問事項			質問要旨		
1	TPP	について	① 大筋合意となった TPP について、市として鹿角農業の将来展望をどのように考えているのか伺う。		
2	農業振興対策	(1) 農業構造改革ビジョンについて	① 基本方針として、生産重視の農業構造から販売重視型農業構造への改革としているが、どのような支援方策で進めるのか伺う。 ② 就農から経営発展までのトータル的なサポートセンターを構築して体制を整備するとしているが、どのような整備体制で進めるのか伺う。		
		(2) 担い手の確保、及び冬季農業支援について	① 農業は、若者の就労の場の一つとして必要であり、また、市の産業基盤とする農業の振興には担い手確保が最も大事であり、米に頼らない複合経営をさらに推進拡大してモデル的な高所得者農家を支援育成しながら誘導指標とする必要があると思うが、市としての考えについて伺う。 ② 複合経営を主としている当市の農業形態は、冬季農業と合わせた周年農業での確立を推進すべきと思うが、また、栽培施設を必要とした場合に市としての支援をどのように考えるか伺う。		
3	地域づくり	について	① 少子高齢化により老人クラブ、子供会、婦人会等の自治会における組織が弱体化してきているが、絆のある地域づくりについて、地域自治会の状況を捉えながら支援をするべきと思うが、市の考えについて伺う。 ② 他自治会との自治会間の交流による情報交換から、組織や生活環境等の問題とする共有課題を捉えて支援策を講ずる必要があると思うが、市としてどのように考えるのか伺う。		

## 平成 27 年第 7 回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	2	質問者	田中 孝一	質問所要時間	60 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
4 福祉対策について					
(1) 健康寿命のまちづくりについて			① 成人病検診の実績の経緯と、予防効果はどのような状況にあるのか伺う。 ② 運動習慣、歯の健康や朝食の励行など、健康づくりは一人ひとり異なるが、「健康づくり」が市民運動となるよう普及啓発を行ってはどうか伺う。		
(2) 高齢者福祉対策について			① 一人暮らしの高齢者や、高齢者のみの世帯、また、認知症や災害時への対策、悪徳業者からの被害等、高齢者を支える地域づくりが重要な課題となっており、住みなれた地域で安心して暮らし続ける環境が求められる。市として今後どのように考えているのか伺う。		
(3) 生活困窮者自立支援制度について			① この制度は、国が困っている状況と程度に応じて、健康で文化的な最低限度の生活を保障することと、自分自身の力で生活できるよう手助けすることを目的としているが、目的に則した鹿角市の取り組み状況はどのようにあるのか伺う。		
5 市道の維持管理について					
			① 市道の維持管理の現状と今後の維持管理計画について伺う。		

# 平成 27 年第 7 回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	3	質問者	田口 裕	質問所要時間	60 分
質問事項			質問要旨		
1 農業政策について					
(1) 主要経営体の育成経営指導について			① 鹿角農業の主要担い手である法人、集落営農組織、一定規模以上の認定農業者の経営の確立が急務となっている。具体的に取り組む考えはないか。		
(2) 農業の将来ビジョンについて			① 将来の鹿角の農業を託す経営体数とその農地集積をどれくらいと想定しているのか。また、所得目標はいくらを目指すのか。		
(3) 農業所得の向上について			① 各種施策を講じてきた結果が農業所得の向上に結びついているのか。また、今後どのように取り組んでいくのか。		
(4) 農業政策の変更への対応について			① 2年後の米減反政策の転換と、TPP発効への対策が必要と思うが、どう取り組んでいくのか。		
2 交通網の整備について					
(1) 国道 282 号花輪地区の渋滞対策について			① 国道 282 号下川原以南の対策が必要になっているが、どのように考え、今後どう進めていくのか。 ② 地元の案を固めて、国・県と交渉すべき時と考えるが、行動を起こす考えはないか。		
3 雇用について					
(1) 労働力不足への対応について			① 急激な労働力不足の状態になってきているが、どのように認識し、どのように取り組んでいく考えか。		
(2) 労働実態について			② 非正規雇用等、労働の実態を把握し、対策を講じていくことが必要と考えるが、市長の考えはどうか。		
(3) 女性の就労対策について			① 女性の就労環境に課題が多くなっている。どのように捉え、今後どう取り組んでいくのか。 ② 実態把握をして対応を考えるべきである。取り組む考えはないか。		

## 平成 27 年第 7 回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	3	質問者	田口 裕	質問所要時間	60 分	
質 問 事 項				質 問 要 旨		
<p>3 税金の紛失事故について</p> <p>(1) 事故の内容と処理について</p> <p>(2) 監査請求について</p> <p>(3) 今後の対応について</p>				<p>① 事故の内容とその後の経過処理について、どのようになっているのか。</p> <p>① 監査請求はどのような内容か。</p> <p>① 再三にわたって再発防止策をとってきたにもかかわらず、今回の事故が起こった。今後どのように処理・対応するのか。</p>		

# 平成 27 年第 7 回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	4	質問者	倉岡 誠	質問所要時間	60 分
質問事項			質問要旨		
1	鹿角市まち・ひと・しごと創生総合戦略について				
	(1) 6次産業の強化について			① 鹿角は、優れた自然・文化、多種多様な農畜産物がある。これらを今後どのように生かしていくのか伺う。(これまでも取り組んできているが、一層のブランドアップ強化を図り、雇用拡大につなげるための取り組み。)	
	(2) インバウンド対策・市内免税の設置促進等について			① 市長のトップセールス効果の表れを受け、地方への誘客拡大を進める中で、受け入れ態勢の整備は喫緊課題である。今後の対応を伺う。(海外からの観光客が増えれば、必然的に免税店等が必要になってくるのではないかと。) ② トップセールスの成果は、どの程度期待できるのか。目先の行動ではなく、時流を見極めた政策の策定が肝要であると考えがいかがか伺う。	
	(3) 放課後児童クラブについて ア 開所時間の延長について			① 市の人口減の一つに自然減が拡大してきている。その抑制を図るため、保育園児と同じ開所時間延長ができないか伺う。	
	イ 受け入れ学年の延長について			① 小学校3年生までの制度を、共働き世帯の実情を鑑み、4年生までとすることはできないか伺う。	
	(4) 地域コミュニティ活動の強化について			① 人口減少が進み、集落自治会機能が弱まってきている中、地域づくり協議会の果たす役割は重要性を増すものとする。協議会が、自治会や地域環境の維持保全・共同作業・支援活動などに、自由度の高い地域づくり活動交付金制度を創設してはどうか。	
	(5) インカレ後の大会誘致について			① その後の、全国規模の大会開催は決まっているものはあるのか。誘致活動は必要と思うがいかがか伺う。	

## 平成 27 年第 7 回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	4	質問者	倉岡 誠	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
(6) 移住定住促進について				① 4名のコンシェルジュの活動が、いま少し目に見えるように感じる。動き始めた移住・定住促進について、今後の方針を伺う。  ② 現在の小中校生が定住する環境を、今後どのように整えていくのか伺う。あわせて、高学歴教育機関の誘致はできないか伺う。	
(7) 地域内産業基盤の確立・強化について				① 鹿角市は素材が豊富でありながら、発信力・生産力・加工力・連携力が弱いと指摘されているが、より実効性を高める手立てが必要であると考えますが、いかがか伺う。(既存の地元企業の中には、世界に通用する可能性も秘めた企業もあり、規模拡大や情報発信等で行政が支援できないか。)	
(8) コモッセの利活用について				① 今、当初予定していた利用率より上回った状況で安堵しているが、1年目としては、順調な滑り出し、設備の整った他に誇れる施設を今後どのように、特に来年度以降、中心市街地の賑わい交流拠点として事業の資質を高め、利用促進を図るのか伺う。	

# 平成 27 年第 7 回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	5	質問者	児玉 政明	質問所要時間	60 分
質問事項			質問要旨		
1	子育て支援について				
	(1) ICTを活用した子育て応援アプリについて		① 子育て世代に広く普及しているスマートフォンを活用して、おむつ替え・授乳スペース、公園などの施設を検索できる施設マップ、子育て支援情報や申請手続き等の情報が閲覧できる子育て支援ナビ、幼稚園・保育施設を条件に合わせて検索できる保育施設検索ナビ、登録した子どもの生年月日に合わせた検診や予防接種のお知らせを通知するお知らせ配信機能など、支援情報を提供する子育て応援アプリについて取り組む必要があると思うが考えを伺う。		
	(2) 福祉医療費助成について		① 秋田県では、子どもの福祉医療費助成を中学生まで拡充するようだが、県の子育て支援をリードしている鹿角市においてもさらに拡充した支援が必要と考えるが、福祉医療費助成を 18 歳まで拡充した取り組みができないか考えを伺う。		
2	定住促進について				
	(1) 住宅政策と生活支援について		① 若年層を対象に定住促進施策として、住環境の整備が必要と考えるが、石川県かほく市の事例で、新婚さん住まい応援事業補助金制度や若者マイホーム取得奨励金制度を参考に、鹿角市においても必要と考えるが、これまで若年層の住み良さに重点を置いた取り組みはどういったものを実施してきたか。また、事例を参考とした取り組みを今後必要と考えるが、考えを伺う。  ② 住宅用自然エネルギーシステム（太陽光発電、小型風力発電、小型水力発電、ペレットストーブ、薪ストーブ等）の設備を設置する場合の補助制度は考えられないか伺う。		
	(2) 三世代同居施策について		① 国では出生率の増加のため、三世代同居を推進する住宅政策を検討・実施するとあるが、合計特殊出生率 1.8 を目指す鹿角市において、家族がともに暮らす三世代同居施策の推進について考えを伺う。		

## 平成 27 年第 7 回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	5	質問者	児玉 政明	質問所要時間	60 分
質問事項			質問要旨		
3 自殺対策について					
(1) 若年層の自殺対策について			① 若年層向けの自殺対策はどのような取り組みを実施しているか。また、今後進めたい取り組みがあるか伺う。 ② 自殺に関する電話相談など、若年層では 24 時間の対応が必要と考えるが、心の健康や気持ちのケアをしてくれる相談窓口の状況について伺う。		
(2) 自殺未遂者の対応について			① 若年層の女性の自殺未遂者は、再度自殺を凶る可能性が高いとするデータから、救急搬送された自殺未遂者に、支援団体や医療機関、行政等と連携して、自殺未遂者の抱える悩みの解決のためのカウンセリング等を行い、自殺未遂を自殺防止に向けた機会とする対応を取っていく必要があると思うが、当局の考えを伺う。		
(3) 自死遺族の対応・ケアについて			① 秋田県には自死遺族を対象とした心の相談、ケアをしてくれる窓口があるが、このようなケアセンターを行政側から遺族側へ紹介する取り組みを実施しているか。実施していない場合は取り組む考えはあるか伺う。		
4 小中学校の再編整備計画について			① 住民説明会から 3 カ月が経過しているが、計画策定へ向けどのように協議が進んでいるのか。素案の説明からの変更点や改善点はあるか、また、計画策定は何月頃を目途に進めているか伺う。 ② 花輪北小学校の学区を見直したうえで、平元小学校との統合を進める理由について、詳しく考えを伺う。 ③ 統合後においても、大湯小学校は平成 33 年に 110 人の児童数になり、適正な学校規模とは思えないが、将来的に市内小中学校はどのような段階を踏んで適正規模に近づけていく考えがあるか伺う。		

## 平成 27 年第 7 回鹿角市議会定例会一般質問

No.3

順位	5	質問者	児玉 政明	質問所要時間	60 分	
質 問 事 項			質 問 要 旨			
5		学校給食施設の整備計画について		① 今後の学校給食施設整備計画について伺う。		
6		スケートボードパークの利活用について		① 2020 年東京オリンピックの追加種目に推薦となった、若者に人気のあるスケートボードについて、本市のスケートボードパークの利用状況と、市外から若者を呼び込むためのツールの一つとして利用できないか伺う。  ② 東京オリンピックの追加種目候補の中から、本市においてもスポーツ人口と増加を目指し、スケートボードパーク施設のさらなる充実と、ボルダリング施設の整備等を実施する考えはないか伺う。		

# 平成 27 年第 7 回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	6	質問者	和井内 貞光	質問所要時間	60 分
質問事項			質問要旨		
1 地方創生戦略について					
(1) 基本目標実現に向けた具体的な取り組み、行動計画について			① 本市の地方創生についての基本的視点と基本目標が策定された。31 年までの 5 カ年の計画ということだが、4 つの基本目標が示されておりいずれも大変前向きな、重要な目標設定であると思う。この基本目標の実現に向けた具体的な取り組み、行動計画について伺う。		
(2) 鹿角市誕生の原点に思いを馳せ、地域の特性を生かしたまちづくりについて			② 地方創生は地域の創生（再生）でもあると思う。本市の場合、4 カ町村が一緒になって鹿角市が誕生したわけだが、この各地の持っている特徴、特色に再び光を当て、高速道路のメリットを生かしつつ、その地域の特性を生かすことにより、なお一層市民が望むまちづくりができるのではないかとと思うが、考えを伺う。		
2 本市の世界遺産登録の取り組みと戦略について					
(1) 既にユネスコ世界遺産登録されている「大日堂舞楽」について			① 既にユネスコ世界遺産に登録され、世界の貴重な財産として世界に認められている「大日堂舞楽」は、本市の大きな財産である。もっと胸を張って世界にアピールする施策があってもいいのではないかと。伝承館の建設と合わせ、保存伝承、世界への発信等市がどのようにかかわっていくのか考えを伺う。		
(2) 大湯環状列石の世界遺産登録について			① 世界遺産登録に向けて、すでに暫定登録されているが、その後遅々として進まない。登録に向けての戦略に見直しの動きもあると言われているが、現状について伺う。 ② 新聞報道の社説に「世界遺産登録へ結束強めよ」という欄で、登録に向けて後押しをする記事が掲載されていたが、この中で県道について、移設に向けた検討を急ぐべきではないかとの記事があった。この県道の件は結論が出ているのではないのか。これがネックになっているとは思えないが、いかがなものか、詳細を伺う。		

# 平成 27 年第 7 回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	6	質問者	和井内 貞光	質問所要時間	60 分
質問事項				質問要旨	
<p>3 市民が納付した市税等の現金紛失事件について</p> <p>(3) 花輪ばやしの世界遺産登録について</p>	<p>③ 世界遺産登録は間違いない、と言われている中で、世界遺産登録された場合、関係者、観光客の来場者の増加、ボランティアガイド等の必要人数等、想定される対策について考えを伺う。</p> <p>① 「本市の誇る勇壮な豪華絢爛なお祭り、現在、国の重要民俗無形文化財に指定され、さらに全国山鉾連合会との連携で、この花輪ばやしもユネスコ世界遺産登録の候補となり、現在、文化庁でも検討されていると伺っているが、現状をお知らせ願いたい。</p> <p>② あの音色が、お囃子が、躍動するお祭りが世界を駆け巡るのかと思えば、こんな嬉しいことはない。期待するのは私ばかりではないと思う。ぜひ世界遺産登録されるよう市としても最大限の対策を講ずるべきと思う。世界遺産に向けた取り組み、支援策等の考えを伺う。</p> <p>① 本年 9 月、税務課で扱った市民から徴収した市税等、74,770 円が紛失、現金が不足し、探したが見つからなかったとする公金紛失事故について、その詳細について伺う。</p> <p>② 収入表と現金があわないまま会計課に現金が回されたと思うが、会計管理者としてはどのような処理をされるのか伺う。</p> <p>③ このことは、今議会の市長の行政報告で報告されるべき事項だと思うが、報告されなかったのはなぜか伺う。</p> <p>④ 今本会議の初日に提出された議長報告中、監査委員 3 名の連名で提出された「例月出納検査の結果について」議長宛に通知が書類で通知されているが、この中に、この公金紛失にかかわる監査の状況が触れられておらず、この件については監査委員では審査されなかったのか。審査されていないとすれば実に不思議に思うのだが如何か伺う。</p>				

# 平成 27 年第 7 回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	7	質問者	館花 一仁	質問所要時間	60 分
質問事項			質問要旨		
1		「企業誘致」について		① 過去 3 年間の誘致実績と、今後の誘致のあり方について伺う。	
2		「ノーメディアの推進」について		① 平成 26 年より、八幡平地区では「ノーメディアデー」に取り組んでいるが、鹿角市でも検討してみてはいかがか。	
3		「少子化対策」について		① 結婚支援事業の取り組み状況とその成果について伺う。	
4		「観光」について		① 本市の主要産業である観光を、「伝統文化」や「スポーツ文化」と融合した部署の新設はできないか伺う。	
		(1)「観光」について			
		(2)「市内の地産地消」について		① 「道の駅あんとらあ」での、さらなる地産地消の拡充策について伺う。	
5		「中心市街地賑わい創出」について		① コモッセ開館に伴う、花輪商店街への活性化対策について伺う。	
6		「文化の振興」について		① 美術館・博物館を設置する考えはないか伺う。	
7		「合宿の誘致」について		① 2020 年東京オリンピックの合宿誘致について伺う。	

# 平成 27 年第 7 回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	8	質問者	高杉 正美	質問所要時間	60 分
質問事項			質問要旨		
1		財政の健全化について	① 平成 26 年度決算審査の結果、すべて承認された。平成 27 年度の決算見込みについて伺う。 ② 人口減少社会での市民が安心して暮らせる長期財政健全化について伺う。 ③ 市政運営の中で、市民と共動のもと、できる行政改革について伺う。 ④ 指定管理者について、今後どの分野で拡大していくのか伺う。		
2		公金の適正管理について	① 徴収事務の取扱いと各部署の現金等の収納・検証、そして、金庫の出入りまでのフローについて伺う。また、その後の庁内事務改善について伺う。		
3		鹿角市監査について	① 監査には次の項目がある。定期監査、臨時監査、例月出納検査。(以上、条例による。)ただし、緊急に監査をする必要のあるときは、この限りではない。今回の不祥事について、監査を実施したのか伺う。		
4		鹿角地域創生について	① 人口減少社会での行政が果たす役割は、市民が希望を持ち未来に向かって自信と勇気を持たせることである。「知恵は万代の宝」ということわざがある。鹿角市まち・ひと・しごと創生総合戦略について、市長の所見を伺う。		
5		スポーツ振興について	① スキー施設をアジア大会が開催できる規格にする。ここから国際交流のスタートにすべきである。また、駅伝のみならず、ハーフマラソン、フルマラソンが開催できる可能性がある。スポーツ振興が交流人口拡大のポイントになる。前向きな考え方を伺う。		